

平成29年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 特 選 〉



- ① 広報 あいら AIRView (10月号)
- ② 29,000部・12回
- ③ A4判・36ページ
- ④ 始良市 秘書広報課



【特集】 クローズアップ・いおたちとともに。

○ 講評

〔企画〕

- ・ 特集「いおたちとともに」は地元産のエイ、アユを取り上げて読み応えがあった。フロントがやや小さく感じたが、それを上回る出来。その他企画も地元ネタ満載で素晴らしい。
- ・ 方言の「いお」を使って導入から読者の興味を引く工夫が施されている。

〔文章〕

- ・ よく取材しており、過不足なくまとめている。
- ・ 特集の文章は量も多く硬めだが、豊富な取材で読み応えがある。新庁舎建設の話題は情報を最小限に抑えていて分かりやすい。

〔デザイン・レイアウト〕

- ・ 写真もメリハリがあり、表情もいい。レイアウトも「エイ」「灰干し」など「とはもの」が入っていて読みやすい。
- ・ 写真の技術が高く、レイアウトもセンスも突出している。特集と市政情報のメリハリがきいている。

〔その他〕

- ・ 編集後記があれば、担当者をもっと身近に感じられるようになるのではないか。



平成29年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 入 選 〉



- ① 広報 きりしま（12月上旬号）
- ② 45,600部・22回
- ③ A4判・32ページ
- ④ 霧島市 秘書広報課



【特集】 田舎に吹く新たな風

○ 講評

〔企画〕

- ・ 特集は帰省客をターゲットにした内容でタイムリー。市の施策と現場の動きをリンクさせた好企画。他の企画も盛りだくさん。毎号若者が多くのページに登場し、市の活気を感じる。
- ・ 特集で問題を提起している視点も興味深い。ただ事実を伝えるだけでなく、市政の課題を市民とともに考えるという広報紙の枠を超えた紙面づくりへの意気込みが伝わってくる。

〔文章〕

- ・ うまくまとめている。広報紙の宿命かもしれないが、特に特集は「いい話」で終わっているのが気にかかる。苦労もあったはず。移住に力をいれている市への提言も聞いてほしい。
- ・ 冒頭の「」、風景描写など新聞などでも使われるつかみの表現を用いるなど、研究のあとがうかがえる。

〔デザイン・レイアウト〕

- ・ 写真はどれも笑顔があふれて秀逸。思い切って大きく扱い、誌面が華やか。「移住体験や補助金」「暮らし発信講座」など市の広報もさりげなく盛り込んでいるのも評価できる。
- ・ 雑誌のような完成度の高い仕上がり。特集で読ませつつ、必要な情報を提供するバランスが絶妙。文字のフォントは小さくてもいい。

〔その他〕

- ・ なぜインデックス（目次）がないのか。それなりの理由があるのなら知りたい。



平成29年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 入 選 〉



- ① 広報 たるみず（11月号）
- ② 8,200部・12回
- ③ A B判・40ページ
- ④ 垂水市 企画政策課



【特集】 伝えよう、和食文化。

○ 講評

【企画】

- ・表紙から裏表紙までさまざまな工夫が凝らしてあり、市販の雑誌のようによくできた広報紙。特にポストカード、QRコード、コスト掲載など感心した。欲を言えば、市民の登場が少ない。垂水出身者の寄稿などあってもいいのでは。
- ・「さらりと楽しく読める」のコンセプトを体现した紙面。「鹿児島県牛日本一」はおめでたい話題なので生産者の横顔などを深掘りして紹介しても良かった。紙面での情報を最小限に抑えるためQRコードを乗せた工夫はいい。

【文章】

- ・非常にコンパクトにまとめてあり、肩が凝らない。
- ・全体的に文章に硬さを感じられる。丁寧な文章は伝わってくるのでバランスが難しい。

【デザイン・レイアウト】

- ・広報紙のサイズ、紙面レイアウト、カラーの色使いはいずれも出色。
- ・広報紙の活用の広がりを感じさせる紙面づくり。随所にQRコードを乗せてネットと連動するなど新しい紙面づくりへの意欲がうかがえる。



平成29年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 入 選 〉



- ① 広報 いぶすき（9月号）
- ② 19,000部・12回
- ③ A4判・28ページ
- ④ 指宿市 市長公室



【特集】 笑顔で輝く人生を

○ 講評

〔企画〕

- ・ 敬老の日特集。「心」「伝承」「活力」と分けて、適切な人物、団体を取り上げている。みなさんの表情もいい。表紙も高齢者の写真の方がよかったのでは。
- ・ 「湯豊宿茶屋」など市民参加型の紙面づくりは好感が持てる。

〔文章〕

- ・ ルポ風に書いていて分かりやすかった。
- ・ 「敬老の日特集」などの文章の流れは書き手のぬくもりが伝わる文章。雑誌などを読み込んだ研究の成果がうかがえる。

〔デザイン・レイアウト〕

- ・ 「まちのお知らせ ピックアップ」より「まちの話題」を前に持ってきた方がいいのでは。情報掲示板は真ん中に置いて抜き取れるようにした方が便利。
- ・ 人の表情を大切にされた巻頭の写真がいい。ただ、9月号などは敬老の日特集と巻頭写真を関連づけても良かった。巻末のインフォメーションカレンダーは貼って使えるので他紙の参考にもなりそう。



平成29年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 入 選 〉



- ① 市報 しぶし（9月号）
- ② 13,800部・12回
- ③ A4判・44ページ
- ④ 志布志市 企画政策課



【特集】 自然災害から命を守る

○ 講評

〔企画〕

- ・ 特集「自然災害から命を守る」は広報紙としては必須のテーマだが、住民の関心をどう高めるかが課題。訓練の様子や備えなど過不足なく取り上げているが、防災診断のチャートをつくるなど読んでもらう工夫がほしい。
- ・ 文芸コーナー、「元気やっど」はいい。「大きくなあれ」は家族のメッセージもあっていい。
- ・ 特集はイラストや写真を取り入れて読みやすい。広報紙の役割をシンプルに体现した内容。敬遠しがちな話題を市民に役立つ情報として分かりやすく伝えている。

〔文章〕

- ・ 「まちの話題」が豊富。文章も端的にまとめている。
- ・ 幅広い世代を意識した紙面づくり。分かりやすさを重視した短い文章が読みやすい。

〔デザイン・レイアウト〕

- ・ 文字のフォントはもう少し大きい方がいい。
- ・ 見出しや配色、余白が考え抜かれた見やすいレイアウト。派手さはないが、市民に有効な情報を伝える姿勢に徹している。表紙に最低限の目次があったら内容が分かりやすい。

〔その他〕

- ・ 題字「しぶし」を中学生に書いてもらっているのはグッド。
- ・ 市政の主役は市民、広報紙の読者も市民。市長コラムを巻末に掲載した編集方針に好感が持てる。



平成29年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 入 選 〉



- ① 広報 ひおき（2月号）
- ② 23,000部・12回
- ③ A4判・24ページ
- ④ 日置市 総務課



【特集】 学ぼう! 日置 ひおき学

○ 講評

〔企画〕

- ・「ひおき学」はいいテーマ。図などがあって分かりやすくまとめたかった。
- ・「ひおき学」のポイント 키워ドと写真で簡潔に伝えた分かりやすい構成。余白を設けて固めの話題を分かりやすく伝えようとする編集方針が伝わってきた。

〔文章〕

- ・「まちの話題」など端的にまとめている。
- ・「育成してきます」→「育みます」など固めの表現が目立つ。文章は長すぎず、表も活用して見やすい。

〔デザイン・レイアウト〕

- ・全体に写真をうまく配置し、すっきりしたレイアウト。色使いも落ち着いていて好感が持てる。
- ・「まちの話題」は見出しに工夫のあとが見られる。タテ見出しとヨコ見出しを織り交ぜたメリハリのあるレイアウトが分かりやすい。

